

- と比較して本体の汚染は大きい。
2. 空回転の効果はハンドピース本体に侵入した菌の大部分は最初の30秒間で排出されている。
 3. 外表面の消毒用アルコール清拭やハンドピース内部のアルコール消毒によってさらに菌レベルを低くすることができる(0~10²のレベル)。
 4. 空回転やアルコール消毒では

内部汚染は完全には除去できない。

F. 研究協力者

杉原 直樹 (東京歯科大学衛生学講座講師)

泉福 英信 (国立医療科学院口腔保健部)

野村 義明 (鶴見大学歯学部予防歯科学講師)

表1. エアタービン・ハンドピース使用後の空回転の時間と汚染状況に関する結果の要約

文献	汚染	ハンドピース 空回転時間 (秒)	アルコール消毒		バキューム による吸引	ハンドピース		備考
			表面清拭	アルコール液 浸漬		非汚染防止型	汚染防止型	
2	培養菌 <i>E. coli</i>) 10 ⁸ CFU	0-30				10 ⁶ -10 ⁷ CFU	10 ⁵ CFU	
		30-60				10 ³ CFU	10 ² -10 ³ CFU	
		60-90				0, 10 ² CFU	0, 10 ² CFU	
		90-120				0, 10, 10 ² CFU	10 ² CFU	
3	培養菌 <i>S. mutans</i>) 10 ⁷ CFU	10	-	-		10 ⁵ CFU	10 ⁴ CFU	
			○			10 ⁴ CFU	10 ² CFU	
		10				10 ³ CFU	10 ¹ CFU	
		60	-	10ml HPに注ぐ		10 ³ CFU	10 ¹ CFU	
		120			10 ² CFU	0		
4	培養菌 <i>S. aureus</i> , <i>S. mutans</i>) 10 ⁷ CFU	10	-			10 ⁵ CFU	10 ⁴ CFU	
		30	-			10 ³ CFU	<i>S. aureus</i> : 0, <i>S. mutans</i> : 10 ² CFU	
		60	-			10 ⁴ CFU	0	
		10	-			10 ³ CFU	10 ³ CFU	
			○			10 ³ CFU	10 ² CFU	
			-		○	10 ² CFU	0	
		○		○	10 ¹ CFU	0		
インレー窩洞 形成	-	○		HP停止時に 吸引停止 HP停止後も 吸引	10 ⁵ CFU	0		
					10 ² CFU	-		
5	感染根管治 療または抜 歯、髄室蓋 の除去と隣 室の開拓	10	-	-		10 ³ CFU		
		30	-	-		10 ² CFU		60秒後でもいならず
		10	○	-		10 ³ CFU		
		30	○	-		10 ² CFU		
		10	-	○ ¹		0-10 ² CFU		1: 70%アルコールに浸漬し、 1秒間空回転後停止、10分間 静置
		40	-	○ ¹		10 ¹ CFU		
		10	-	○ ²		0-10 ¹ CFU		2: 0.3%グリセリンおよび0.3 %ポリリジン添加70%アルコ ールに浸漬し、1秒間空回転後 停止、11分間静置
20	-	○ ²		10 ¹ CFU				
6	腐蝕エナメル質 象牙質の除去	10	-	-		10 ⁴ CFU	-	
	培養菌 <i>S. mutans</i>) 10 ⁸ CFU	40	-	-		10 ² CFU	-	
		10	-	-		10 ⁵ -10 ⁶ CFU	-	
			○	-		{10 ¹ -10 ⁶ CFU}*	~10 ³ CFU	
		○	○ ³ (30秒間)		-	10 ² CFU	3: 70%エタノールに30秒 浸漬	

参考文献
 2. 山賀雅裕(新潟大学 歯 歯保存), 桐生尚明, 大淵百合香, 他. エアタービンハンドピースの内部汚染に関する細菌侵入を指標とした内部汚染防止機構の探求(研究論文). 日本歯科保存学雑誌. 38巻2号 Page472-478 (1995.04)
 3. 安永哲也(大阪大学 歯 歯保存). エアタービンハンドピースの汚染防止に関する研究(研究論文). 大阪大学歯学雑誌0473-4629/40巻1号 Page73-88(1995.06)
 4. 松山実(名古屋大学 口腔外科), 伊藤正夫, 上田実, 他. 医療性感染の予防に関する研究エアタービンハンドピースの内部汚染について(研究論文). 日本口腔科学雑誌. 43巻2号 Page225-234 (1994.04)
 5. 塩野真(日本大学 歯 歯保存), 林謙, 前田生司. エアタービンハンドピースの消毒に関する研究に消毒用アルコールを吸引させた場合の効果について(研究論文). 歯科薬物療法. 12巻2号 Page140-145 (1993.08)
 6. 鳥居光男(大阪大学 歯 歯保存), 安永哲也, 横田若生, 他. エアタービンハンドピースの内部汚染とその防止(研究論文). 日本歯科保存学雑誌. 30巻3号 Page100-110 (1987.06)

表3 参考文献リスト

原簿論文	著者	論文名	掲載誌	年
1.	横田博(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第1報) その構造と機能(原簿論文)	歯科材料・器械(0286-5858)2巻3号 Page616-622(1983.09)	(1983.09)
2.	高木正典(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第2報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)26巻3号 Page618-626(1983.11)	(1983.11)
3.	高木正典(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第3報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)27巻4号 Page713-718(1984.07)	(1984.07)
4.	八木一(東北大学 工学), 藤本谷園内, 五沢かほる, 堀内博	歯科用ユニット給水系の汚染状況と対策(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)27巻4号 Page549-555(1984.11)	(1984.11)
5.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 八木一, 堀内博	歯科用ユニット給水系の汚染状況と対策(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)28巻1号 Page243-248(1985.02)	(1985.02)
6.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	エアタービン・ハンドピース自動消毒機の消毒効果についての検討(原簿論文)	歯学(0029-8484)72巻3号 Page1077-1083(1985.02)	(1985.02)
7.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第4報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)28巻1号 Page243-248(1985.02)	(1985.02)
8.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第5報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)29巻5号 Page1556-1562(1986.10)	(1986.10)
9.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第6報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)30巻1号 Page110-116(1987.02)	(1987.02)
10.	馬場光男(大阪大学 工学), 高木正典, 堀内博, 他	エアタービンハンドピースの内部汚染 現状とその防止(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)30巻3号 Page1100-1106(1987.06)	(1987.06)
11.	山田明(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 藤本谷園内, 他	超音速エアタービンハンドピース消毒機の機能(第2報) その消毒効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)30巻4号 Page1210-1210(1987.08)	(1987.08)
12.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 石塚浩平, 堀内博	高圧蒸気滅菌に伴う歯科用タービンの特性変化 高圧蒸気滅菌のワークスケジュール(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)31巻3号 Page977-985(1988.06)	(1988.06)
13.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	高圧蒸気滅菌に伴う歯科用タービンの特性変化 高圧蒸気滅菌のワークスケジュール(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)31巻3号 Page977-985(1988.06)	(1988.06)
14.	中野幸一(大阪歯科大学), Stanton-Appleton S., 藤澤一, 他	インフェクションコントロール エアタービンハンドピースのクロスコンタミネーション防止法について(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0389-5238)12巻2号 Page137-142(1991.12)	(1991.12)
15.	堀内博(東北大学 工学), 藤本谷園内	歯科診療室における感染予防(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0047-1763)45巻4号 Page325-329(1992.07)	(1992.07)
16.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	歯科診療室における感染予防 タービンハンドピースの滅菌管理への要約の現状と対策(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
17.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	歯科診療室における感染予防 タービンハンドピースの滅菌管理への要約の現状と対策(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
18.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	歯科診療室における感染予防 タービンハンドピースの滅菌管理への要約の現状と対策(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
19.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第7報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
20.	堀内博(日本大学 歯学部), 林誠, 前田正司	エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに消毒用アルコールを噴霧させた場合の効果について(原簿論文)	歯科臨床雑誌(0288-1012)12巻2号 Page140-145(1993.08)	(1993.08)
21.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第8報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
22.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第9報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
23.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第10報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page1078-1086(1992.08)	(1992.08)
24.	松山英(名古屋大学 工学), 伊藤正夫, 上田真, 他	直視性感染の予防に関する研究 エアタービンハンドピースの内部汚染について(原簿論文)	日本口腔学会雑誌(0029-0297)43巻2号 Page225-234(1994.04)	(1994.04)
25.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第11報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page1599-1609(1994.10)	(1994.10)
26.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第12報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page1599-1609(1994.10)	(1994.10)
27.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	高圧蒸気滅菌に伴う歯科用タービンの特性変化 高圧蒸気滅菌のワークスケジュール(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page1599-1609(1994.10)	(1994.10)
28.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	高圧蒸気滅菌に伴う歯科用タービンの特性変化 高圧蒸気滅菌のワークスケジュール(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page1599-1609(1994.10)	(1994.10)
29.	山田明(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 藤本谷園内, 他	超音速エアタービンハンドピース消毒機の機能(第3報) その消毒効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)38巻2号 Page472-478(1995.04)	(1995.04)
30.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第13報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)38巻2号 Page472-478(1995.04)	(1995.04)
31.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第14報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)38巻2号 Page472-478(1995.04)	(1995.04)
32.	伊藤正夫(伊藤歯科医院)	日常診療の感染対策 ハンドピース吸引汚染を考慮する(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0047-1763)48巻2号 Page141-145(1995.05)	(1995.05)
33.	高木正典(大阪大学 工学), 藤本谷園内	エアタービンハンドピースの汚染防止に関する研究(原簿論文)	大阪大学歯学雑誌(0473-4629)40巻2号 Page73-88(1995.06)	(1995.06)
34.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	内部汚染防止装置付きの新しいタービンハンドピースの有効性について(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0047-1763)49巻2号 Page149-154(1995.05)	(1995.05)
35.	高木正典(大阪大学 工学), 藤本谷園内, 藤本谷園内, 他	タービンハンドピースの汚染防止に関する研究 フィルター通過前後の水の塩素濃度の変化(原簿論文)	大阪大学歯学雑誌(0473-4629)40巻2号 Page73-88(1995.06)	(1995.06)
36.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 堀内博	オートクレーブ処理と変圧を100回行った歯科用タービンの内部変化(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)40巻4号 Page964-974(1997.08)	(1997.08)
37.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速化学療法を応用した新着の歯科用ハンドピース自動消毒機について(第15報) その滅菌効果(原簿論文)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)40巻4号 Page964-974(1997.08)	(1997.08)
38.	小野寺(徳島大学 歯学部), 新井真, 後井隆子, 河野道, 河野江明	本学附属歯科診療室における感染予防対策の実態と問題点(原簿論文)	徳島歯学(0385-020X)24巻1号 Page129-134(1998.01)	(1998.01)
39.	小野寺(徳島大学 歯学部), 新井真, 後井隆子, 河野道, 河野江明	本学附属歯科診療室における感染予防対策の実態と問題点(原簿論文)	徳島歯学(0385-020X)27巻2号 Page281-287(2001.05)	(2001.05)

雑誌：解説論文

原簿論文	著者	論文名	掲載誌	年
1.	高木正典(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	ハンドピースとエアユニットの感染予防対策(解説)	歯科臨床雑誌(0288-1012)12巻2号 Page140-142(1993.08)	(1993.08)
2.	子田一(新潟大学 工学), 藤本谷園内	ハンドピースの汚染と感染防止対策(解説)	DE(0385-0129)123号 Page172-221(1997.10)	(1997.10)
3.	市村真二(東京理)	診療室での感染：消毒、清掃器具の滅菌(解説)	デンタルダイジェスト(0386-2305)23巻7号 Page68-71(1998.06)	(1998.06)
4.	高木正典(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	歯科における感染対策の現状と将来：チャップをいかに活かすか(解説)	歯科臨床雑誌(0011-8702)39巻3号 Page629-638(1999.09)	(1999.09)
5.	子田一(新潟大学 工学), 藤本谷園内	エアタービンハンドピースによる交叉感染の防止(解説)	新潟歯学雑誌(0385-0153)23巻2号 Page189-190(1999.12)	(1999.12)
6.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	ハンドピースの汚染対策(解説)	歯科臨床雑誌(0011-8702)39巻3号 Page658-659(2000.03)	(2000.03)
7.	村井道彦(村井歯科医院), 本堂隆男, 藤野孝子, 河野幸乃, 藤田幸子	これで感染infection 治療用ユニットの取り扱い(解説)	デンタルハイジーン(0285-0508)20巻1号 Page120-123(1997.06)	(1997.06)
8.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	臨床工学 安全性及び耐久性向上を目指したエアタービンハンドピース「マッハライト2」について(解説)	日本歯科雑誌(0289-0909)707号 Page89-92(2001.09)	(2001.09)

会誌：学会発表抄録

原簿論文	著者	論文名	掲載誌	年
1.	高木正典(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	歯科用ハンドピースのための新型自動消毒機 構造、滅菌及び性能と滅菌効果の比較について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)27巻1号 Page258(1984.02)	(1984.02)
2.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	エアタービン・ハンドピース自動消毒機の消毒効果についての検討(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0029-0297)33巻4号 Page913-914(1984.10)	(1984.10)
3.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内	歯科用エアタービン内の水の逆流に関する実験的検討(第1報)「水切り機構」による水の逆流について(会誌)	日本口腔学会雑誌(0029-0297)33巻4号 Page1018(1985.10)	(1985.10)
4.	山田明(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 他	超音速エアタービンハンドピース消毒機の機能(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)27巻4号 Page549-555(1984.11)	(1984.11)
5.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 他	超音速エアタービンハンドピース消毒機の機能(会誌)	歯科ジャーナル(0386-4715)24巻1号 Page125(1986.07)	(1986.07)
6.	高木正典(大阪大学 工学), 藤本谷園内, 他	エアタービンハンドピースの内部汚染 現状と対策(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)30巻4号 Page1210-1210(1987.08)	(1987.08)
7.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究(会誌)	大阪大学歯学雑誌(0473-4629)32巻1号 Page383(1987.06)	(1987.06)
8.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究(会誌)	日本歯理工学会10周年記念学術会議論文 Page78-79(1987.10)	(1987.10)
9.	小川俊典(埼玉歯学大会), 他	エアタービンハンドピースの滅菌効果(会誌)	歯科臨床雑誌(0385-0137)30巻1号 Page253(1988.09)	(1988.09)
10.	石山明(北海道大学 工学), 藤本谷園内, 他	口腔内で使用する器具の消毒滅菌法について エアタービンハンドピースの汚染状況とその対策(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0389-5386)35巻8号 Page621(1991.09)	(1991.09)
11.	五沢かほる(東北大学 工学), 藤本谷園内, 他	歯科用タービン・ハンドピースの消毒に関する研究(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0389-5238)12巻2号 Page207(1991.12)	(1991.12)
12.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究(第4報) タービンハンドピースのエアサイドにおける消毒法について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)35巻4号 Page141(1992.11)	(1992.11)
13.	林誠(日本大学 歯学部), 他	エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくにアルコール吸引による消毒効果と問題点について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)36巻4号 Page80(1993.05)	(1993.05)
14.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくにグリーンレーザーによる消毒効果と問題点について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)36巻4号 Page104(1993.10)	(1993.10)
15.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)36巻4号 Page103(1993.10)	(1993.10)
16.	伊藤正夫(名古屋大学 工学), 他	下顎第三臼歯部分断歯時のハンドピース内部汚染(会誌)	日本口腔学会雑誌(0021-5163)39巻13号 Page1622(1993.12)	(1993.12)
17.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 他	保存治療に伴うエアタービンハンドピースの汚染と消毒法について(会誌)	歯科臨床雑誌(0288-1012)12巻3号 Page253(1993.12)	(1993.12)
18.	山田明(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 問題点を指摘した内部汚染防止装置の評価(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page116(1994.05)	(1994.05)
19.	小川明子(大阪大学 工学), 藤本谷園内, 他	歯科用エアタービンハンドピースの汚染防止に関する研究(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0387-2343)37巻5号 Page115(1994.05)	(1994.05)
20.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに水の逆流防止装置の効果について(会誌)	歯科臨床雑誌(0288-1012)12巻3号 Page208(1994.12)	(1994.12)
21.	松久正明(新潟大学 工学), 藤本谷園内, 他	防汚防止のための新しいタービンハンドピースシステム(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0047-1763)48巻5号 Page502(1995.08)	(1995.08)
22.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに消毒用アルコールを噴霧させた場合の効果について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0285-1148)24巻1-2号 Page140-141(1996.03)	(1996.03)
23.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに消毒用アルコールを噴霧させた場合の効果について(会誌)	歯科臨床雑誌(0011-8702)別冊デンタルハイジーン'95 Page289(1996.05)	(1996.05)
24.	松久正明(新潟大学 工学), 藤本谷園内, 他	防汚防止のための新しいタービンハンドピースシステム(会誌)	歯科臨床雑誌(0011-8702)別冊デンタルハイジーン'95 Page191(1996.05)	(1996.05)
25.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに逆流防止装置の効果とアルコール吸引消毒法について(会誌)	歯科臨床雑誌(0288-1012)15巻3号 Page225(1996.12)	(1996.12)
26.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに消毒用アルコールを噴霧させた場合の効果について(会誌)	歯科臨床雑誌(0288-1012)16巻3号 Page187-188(1997.12)	(1997.12)
27.	藤本谷園内(東京理科大学 工学), 藤本谷園内, 草田洋一郎, 他	超音速エアタービンハンドピースの消毒に関する研究 とくに消毒用アルコールを噴霧させた場合の効果について(会誌)	日本歯科保存学雑誌(0389-5386)45巻105巻特別号 Page59(2001.06)	(2001.06)

7. 診療時の手洗いについて

(1) 手洗いはどのような時に行いますか。

- ① 各患者さんの診療前のみ ② 各患者さんの診療後のみ ③ 各患者さんの診療前・後
④ 洗わない(手袋をするため)

(2) 手洗いはどのように行いますか。

- ① 洗剤で洗い、水道水で流す ② 消毒薬に浸け、水道水で流す ③ 水道水で済ませる
④ 酸性電解水等で洗う ⑤ その他()

(3) 手洗いはどのように手指を乾燥させますか。

- ① ペーパータオル ② 布製タオル ③ 送風式乾燥機 ④ その他()

8. 診療時の手袋の着用について

(1) どのような頻度で交換しますか。

- ① 患者さんごとに交換する ② 患者さん2~3人で1回程度 ③ 午前中と午後1回程度
④ 汚れたり破れた時交換する ⑤ 感染症患者さんだけ着用する ⑥ 全く着用しない
⑦ その他()

(2) 着用後の手袋はどのように取り扱っていますか。

- ① すべて感染性廃棄物として取り扱う ② 普通ごみとして取り扱う
③ 感染症患者さんの物だけ別に処理する
④ その他()

9. 診療時の防護メガネ、マスク、フェイスシールド、帽子の着用について

(1) 防護メガネの着用について

- ① 常に着用する(洗浄・交換は、イ. 患者さんごとに行う ロ. 汚れたときに行う
ハ. 午前・午後で各1回程度 ホ. 1日1回程度 ヘ. その他)
② 感染症患者さんのみに着用する
(メガネは診療後、イ. 洗浄・消毒する ロ. 洗浄・消毒しない)
③ 全く着用しない ④ その他()

(2) マスクの着用について

- ① 常に着用する
(交換は、イ. 患者さんごとに行う ロ. 汚れたときに行う ハ. 午前・午後で各1回程度
ホ. 1日1回程度 ヘ. その他)
② 感染症患者さんのみに着用する (マスクは診療後、イ. 交換する、ロ. 交換しない)
③ 全く着用しない ④ その他()

(3) フェイスシールドの着用について

- ① 常に着用する
(交換は、イ. 患者さんごとに行う ロ. 汚れたときに行う ハ. 午前・午後で各1回程度
ホ. 1日1回程度 ヘ. その他)
② 感染症患者さんのみに着用する
(フェイスシールドは診療後、イ. 交換する ロ. 交換しない)
③ 全く着用しない
④ その他()

13. 口腔内から取り出したガーゼ、綿花の廃棄について

(1)使用した物は一般廃棄物と分別廃棄していますか。

- ① はい：（イ.すべての患者さん　ロ.感染症患者さんのみ　ハ.その他）
- ② いいえ

14. 感染症患者さんにはディスposableの器材、器具等を出来るだけ多く使用していますか。

- ① はい
- ② いいえ

15. 日本歯科医師会の「C型肝炎予防対策Q&A」をご存知ですか。

- ① 知っている
- ② 知らない

16. 「C型肝炎予防対策Q&A」のパンフレットが役立ちましたか。

- ① はい：（イ.大いに役立った　ロ.普通　ハ.少し役立った）
- ② いいえ

ご協力ありがとうございました。

C型肝炎ウイルス汚染歯科用器具による曝露事故についての実態

に関するアンケート調査

平成 年 月 日

施設名、病院名

このアンケート調査の結果は別紙にある目的にのみ使用されるもので、それ以外の目的には一切使用されません。ご協力をよろしくお願いいたします。各設問の該当するものに関して〇および()内に記載していただき、期限までにご返送をお願いいたします。

1. あなたの施設の診療形態は以下のどれですか？

- ① 歯科診療所(開業) ② 病院歯科 ③ 病院歯科、口腔外科 ④ 歯科大学病院 ⑤ その他()

2. あなたの施設で診療に従事している歯科医師数は何人ですか？

- ① 1人 ② 2人～5人 ③ 6人～10人 ④ 11～20人 ⑤ 21人以上

3. あなたの施設で歯科診療(外来および病棟)に従事している歯科医師以外のスタッフは何人ですか？

- ① 1人 ② 2人～5人 ③ 6人～10人 ④ 11～20人 ⑤ 21人以上

4. 歯科医師および他のスタッフ合同で感染予防に関して話し合いの機会を持ったことがありますか？

- ① ある ② ない

5. 4.であると答えたかたはその頻度に関してお答えください

- ① 過去一度だけ ② 何度か不定期で行った ③ 定期的に行っている ④ その他

病院感染対策委員会に関してお聞きします。

6. 院内感染対策委員会(ICC)は常設されていますか？

- ① いる ② いない

7. ～11. の質問は 6. で① いると答えられたかたのみお答えください。

7. 歯科関係者が委員として関与していますか？

- ① いる ② いない

8. 委員会の開催頻度はどの程度ですか？

- ① 月1回以上 ② 月に一回程度 ③ 2ヶ月に一度程度 ④ その他()

9. 委員会の構成メンバーはどのようなスタッフですか？

- ① 医師、歯科医師のみ ② 医師、歯科医師、看護師
③ 医師、歯科医師、看護師のみでなく院内各分野の代表者(薬剤部、検査部など)

10. ICD (Infection Control Doctor) や ICN (Infection Control Nurse) といった専門家が常在していますか？

- ① いる ② いない

11. ICT (Infection Control Team) が ICC 以外に組織されていますか？

- ① いる ② いない

歯科への患者さんの来院、処置状況に関してお聞きします。

12～16の質問に関しては実数の記載と選択肢の選択の両方をお願いいたします。

12. 1年間の新患者数は何名ぐらいですか？

- ① 1000人以下 ② 1000～3000人 ③ 3000～5000人 ④ 5000人以上
約 名

13. 1年間の延べ患者数（来院患者数）は何名ぐらいですか？

- ① 1万人以下 ② 1～5万人 ③ 5万～10万 ④ 10万～20万人 ⑤ 20万人以上
約 名

14. 1年間での局所麻酔下での抜歯を含む外来の観血的外科処置の数は何例ぐらいですか？

- ① 1000以下 ② 1000～5000 ③ 5000～10000 ④ 10000以上
約 例

15. 外科処置以外の出血を伴う処置（抜髄、スケーリング等）の数は何例ぐらいですか？

- ① 1万以下 ② 1～5万 ③ 5～10万 ④ 10万以上
約 例

16. 1年間での入院による外科処置（全麻手術を含む）数は何例ぐらいですか？

- ① 100以下 ② 100～500 ③ 500以上
約 例

17. 外科処置の際のウイルス感染症などについてのチェックはどのようにされていますか。

- ① 既往歴の聴取のみ ② 既往歴と検査による ③ とくにチェックしていない

18. 17. で ② と答えられた場合、その種類はどのようなものですか

- ① 肝炎ウイルスに対して ② MRSA にたいして ③ 緑膿菌にたいして ④ その他（ ）

19. 外科処置を行う患者さんに対してHCV抗体検査を行っていますか？

- ① すべての患者に行っている ② 入院患者のみ行っている ③ 既往歴を聞いて行っている ④ まったく行っていない

20. 19. で検査を行っていると答えられた施設（④以外）のみお答えください。抗体陽性率はどれぐらいですか？

- ① 1%未満 ② 1～5% ③ 5%以上

21. HCV抗体陽性患者に対してHCV RNA定性検査を行っていますか？

- ① 必ず行っている ② 患者によっては行っている ③ 行っていない

22. HCV抗体陽性の患者さんが見つかった場合どのようにされていますか。

- ① 内科などに紹介してから歯科の処置を行う
② 他科には紹介しないが感染予防を確実にして歯科処置を行う
③ 差別になるのでとくに配慮しないで通常の処置を行う

23. C型肝炎抗体陽性患者に対する処置はどのように行っていますか？

- ① ユニット、器材などは区別しないで一般の患者同様に行っている
② B型肝炎、HCV罹患患者と共に一般の患者とはユニットを変えて行っている
③ 一般と区別しないが、治療後にユニットや器材の消毒を別に行っている
④ 日時や時間を別にとって行っている

24. 開業の歯科を含め他院からC型肝炎の患者さんへの対応を求められたことはありますか。

- ① ときにある ② かなり多い ③ ない

25. 24. で ①、② とお答えになった場合それはどのようなことですか

- ①検査のみの依頼 ②検査と処置のすべて ③対応のあり方などのアドバイスのみ ④他科への紹介

針刺し事故と歯科診療中の汚染事故についてお聞きします。

26. 過去1年間に歯科（外来、病棟）での診療中または診療後の針刺し事故・汚染事故の報告はありましたか？

- ① あった（ 針刺し 件）（その他の汚染 件） ② なかった

27. このうちC型肝炎感染患者に使用した針や器具による事故はありましたか？

- ① あった（ 件） ② なかった

28. 上記 26. 27. の針刺し事故などの後にC型肝炎の感染、および発症が確認された例はありましたか？

- ① あった（ 件） ② なかった

29. 針刺し事故・汚染事故の発生後確実に追跡調査を行っていますか？

- ① いる ② いない ③ 途中でやめてしまった場合もある

30. 針刺し事故・汚染事故を経験した回数が多かったスタッフは？

- ① 歯科医師 ② 看護師 ③ 歯科衛生士 ④ 技工士 ⑤ その他（検査技士など）

31. 針刺し事故・汚染事故の発生状況はどのようなときが多かったですか？

- ① 器材を患者に使用前 ② 器材を患者に使用中 ③ 器材の分解時 ④ 使用済み注射針の再キャップ時
⑤ 廃棄ボックスに器材を入れるとき ⑥ その他（ ）

32. 針刺し事故・汚染事故を起こした器材は何ですか？

- ① 注射針 ② バー類 ③ スケーラー ④ 探針 ⑤ ワイヤー ⑥ その他（ ）

医科が併設されている病院または診療所のかたにお聞きします。

33. 過去1年間で医科での針刺し事故の報告はありましたか？

- ① あった（ 件 ） ② なかった ③ わからない

34. 針刺し事故がおきたときのために報告書が用意されていますか？

- ① ある ② ない

35. 事故発生後の対応に関して文書化されたマニュアルが常備されていますか？

- ① ある ② ない

36. 歯科での汚染事故が起こった場合の対応はどの診療科ですか。

- ① 歯科（自分の診療科）のみ ② 歯科と内科（感染症科） ③ 内科で全部処理

歯科診療における感染予防対策についてお聞きします。

37. どの程度の頻度でユニットを消毒しますか。

- ① 1日に1度 ② 午前と午後の間 ③ 感染症患者の診療の後のみ ④ 消毒は特に行っていない

38. どの程度の割合でタービンやハンドピースを滅菌していますか？

- ① 患者ごと ② 午前と午後一度 ③ 一日に一度 ④ 感染症患者を診察した後のみ ⑤ ほとんど滅菌しない

39. エアタービン、シリンジなどに逆流防止装置がついていますか。

- ① 一部に付いている ② 全部に付いている ③ 付いていない

40. 診療室で使っている滅菌システムについてお教え下さい（複数回答可）

- ① 中央システムでオートクレーブによる ② 乾熱滅菌 ③ ガス滅菌 ④ 薬液浸漬または拭拭のみ

41. どの程度の頻度でラテックスグローブを替えますか

- ① 患者さんごと ② 患者さん2人に一度 ③ 午前と午後 ④ 一日一度 ⑤ 感染症患者を診察するときのみ

42. マスクは患者ごとに変えていますか？

- ① 患者さんごと ② 午前と午後一度 ③ 一日に一度 ④ 数日に一度 ⑤ 感染症患者を診察するときのみ

43. 保護用メガネを着用していますか？

- ① している ② していない

44. どの程度の割合で白衣を変えますか？

- ① 患者ごと ② 一日に一度 ③ 数日に一度 ④ 感染症患者を診察するときのみ

45. 医療廃棄物が感染性廃棄物、非感染性廃棄物に分別され適切に処理されていますか？

- ① 区別して処理している ② 区別して処理はしていない ③ 処理についてはよく判らない

46. 施設内で歯科での感染予防に関する講演や研究会が開催されたことがありますか。

- ① 定期的に行われている ② 過去に何回かある ③ 行われていない

御協力有難う御座いました。